

エネルギー・化学・プラントの総合誌



● ジェティ

Vol.60 No.3

2012 /

3

〈特集〉水をめぐる環境技術
〈特集〉塗料・塗料原材料の最新技術
〈特集〉難燃剤の技術展望
実装基板向け洗浄技術の最新動向
省エネ型低温反応制御システム

大成ファインケミカル

常温硬化型有機無機ハイブリッドエマルジョンを開発

大成ファインケミカルはアクリルエマルジョンの表面に反応性シリカを変性させた、常温硬化タイプの有機無機ハイブリッドエマルジョン「KS-3705」を開発し、3月14日よりサン

ブルの提供を開始する。一般に有機無機ハイブリッドエマルジョンは、塗膜性能発現のための硬化反応時に高いエネルギーを必要としたり、併用有機物に起因する耐溶剤性の低下

や塗膜の強靱不足などの多くの課題があった。そこで同社では反応性シリカをカチオン系アクリルエマルジョンの表面に変性し、またアクリルエマルジョンにもシラノール基を含有させ、粒子を安定化させることで、塗膜成形時に高い硬化性をもたせることに成功した。

2012年3月1日 常温硬化型有機無機ハイブリッドエマルジョンを開発 JETIに掲載